慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	おわりに
Sub Title	
Author	朝倉, 浩一(Asakura, Koichi)
Publisher	慶應義塾大学理工学部
Publication year	2017
Jtitle	人間教育講座 : 社会を知る自分を知る自分を育てる (2017.) ,p.123- 126
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Book
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO50001001-20170000-0123

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

おわりに

本冊子は二〇〇四年から始まった「人間教育講座」の二〇一七年度に開講された四件の講演の記録をまとめたものです。通算の講演開催数は六一回となりました。昨年度にひきつづき今年度も日吉主任はじめ関係の方々の努力の甲斐あって幸い年四回の開催が可能となりました。

本講座では社会の様々な分野において時代を先導する役割を果たして来られた方々、あるいは独自の視点や生き方をもってこの時代を切り開きつつある方々を講師としてお招きしてきました。理工学部の一、二年生の皆さんを主な対象として、ご自身の体験や生き方を、自由に語っていただき、そこから何かを学び取ってもらいたい、という当初からの趣旨にそって、卒業要件にかかわるどのような授業科目とも無関係に、学生のみなさんの自由意志による参加を前提として、この講座を続けてきました。この冊子の巻頭で伊藤公平理工学部長が紹介しておりますが、本年度は計四回の多彩な、それぞれ大変に充実した内容の講演会を開催することができました。このような実績によりこの講座の活動は理工学部だけでなく他学部にまで広く知られるようになってきており、各講演会における質疑の時間には三田や藤沢のキャンパスから聴講に来た学生のみなさんからも活発な質問がなされて

います。

各年度ごとにこのようにまとめられた冊子は、理工学部の新入生全員にお渡しすると共に、オープンキャンパスをはじめとして、様々な機会を通して塾外の方々にも配布してまいりました。それに加え、冊子に収録した内容をそのまま、あるいは一部手直ししたものを、慶應義塾大学学術情報リポジトリ（ＫＯＡＲＡ）でも公開しています（http://www.st.keio.ac.jp/koza/index.html）。非公刊物である冊子と異なり、このリポジトリでの公開には著作権の問題等が絡みますので、すべての講演会の内容を公開することはできませんが、これまでの多くの講演会の内容を学内・学外を問わず多くの方々にご覧いただくことができるようになっていますので、興味のある方はぜひお訪ねください。

毎年この場を借りて、その年に報道され話題になった科学技術に関連したさまざまな不祥事についてリストアップしてきました。今年度は、特に大型研究プロジェクトでの論文不正や研究助成金の不正受給など、科学技術に対する社会の不信感が広がる中、理工学部生・卒業生には一層の倫理観・責任感を持つとともに正しい情報を社会に発信することが求められています。一方で、現在私たちが直面している大規模で複雑なさまざまな問題の解決のために、科学技術は他分野と協調・連携することでより一層の貢献を求められています。こうした背景の下、本講座でお話しいただいた講師の先生方からのメッセージが理工学部で学ぶ学生たちに伝わり、彼らが社会の先導者として活躍できる人材となるための一助と

なるべく講座の企画・運営をおこなっています。

本冊子記載の通り、二〇一七年度には計四回の講演会を開きました。多忙な中で時間を割き、講演に続いて遅い時間まで学生からの質問に丁寧にお答えいただいた講師の方々――池内了氏（名古屋大学名誉教授・総合研究大学院大学名誉教授）、水野雄介氏（ライフイズテック株式会社代表取締役ＣＥＯ）、川口晃平氏（シテ方観世流能楽師梅若会所属）、上村佳孝氏（慶應義塾大学商学部准教授）――に深く感謝申し上げます。また、講師の方々の招聘にあたり、仲介の労をお取りいただいた学内・学外の方々にも、厚く御礼申し上げます。多様な分野でご活躍されている第一人者の、まったく異なる生き方と、挫折に負けない強い意志をメッセージとして伝えていただきました。

最後になりますが、「人間教育講座」の企画・運営とこの冊子の制作にご尽力いただいた青山藤詞郎前学部長、伊藤公平学部長、二〇一七年九月までの理工学部生・倫理道徳教育委員会委員の、本多敏教授（委員会委員長）、高桑和巳准教授（委員会幹事）、萩原眞一教授、佐々田博之教授、また二〇一七年一〇月からの委員の、高桑和巳准教授（幹事）、萩原眞一教授、栗田治教授、遠山元道准教授、日吉・矢上の関連の事務職員の皆様ならびに慶應義塾大学出版会の皆様に御礼申し上げます。

二〇一八年三月

理工学部生・倫理道徳教育委員会委員長　朝倉浩一